

夕カハナ 町

夕カハナ には 不金持ちの家が多い

昔の夕カハナには 不物の皮を履いてい

て、ニールヤ 研練の加工したものを履

はると見かけ多い

そのハンド心ツラの店の自覚が

夕カハナに なるのであつた

ある時 町内の近所の 仲主人が来るようになった

ので 香典をもって うかがつた

すると こんろもの いろいろある

と、~~と~~ と言つて 言ひ出された

何故なるかと 不心の言を聞いて

それをきいて おとりの 子やあやし

ふがさん 知ろやあやしの

この廻は 昔の夕カハナ であつた

そのいをば 不物をあつかう 仕事をする人

了解に 一般とみよきわ あり 話

そのい 二とあり

その人達のあつた 夕カハナ

夕カハナ 夕金の持ち手 その仲間がいた

今時 せんろこと びろの

動物の皮をばくろ 与んて

おろろしい 化率だ

持殊のんが よろこお 本皮

ころいり所ど つか られり いりやだ

知ろろり ことか多い私

知ろろり こと 不交てしそり

動物の 本皮 与んて 見れこと存

布^中 び^中 ころ^中 び^中 ぶら分だ

アツシ 目^中 鉋^中 被^中 比^中 の^中 っ^中 て^中 い^中 ぶ^中 年^中 皮^中 の^中 へ^中 び^中 ト

に^中 っ^中 っ^中 っ^中

2025
5/15